

所属名	事務事業名	ページ番号
水産振興課	漁港施設ストックマネジメント事業	2
水産振興課	漁業近代化資金利子補給事業	3
水産振興課	種苗放流推進事業	4
水産振興課	内水面漁業振興事業	5
水産振興課	海岸漂着ごみ緊急対策事業	6
水産振興課	海苔共同加工施設維持管理経費	7
水産振興課	水産多面的機能発揮対策事業	8
水産振興課	漁業被害対策特別資金利子補給事業	9
水産振興課	塩水対策事業	10
水産振興課	沿岸漁業振興特別対策事業	11
水産振興課	漁港管理経費	12
水産振興課	漁港小規模事業	13

# 令和7年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	漁港施設ストックマネジメント事業	<b>事業期間</b>	平成 24 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	水産振興課 基盤整備係	<b>担当課長名</b>	山田 博幸
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	06特色ある水産業の振興	
	<b>基本事業</b>	水産業経営環境の整備	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	佐賀市が管理している3漁港において、浚渫工事や栈橋等の補修工事を行うことで、漁業者が安全かつ円滑に漁業活動に取り組めるよう漁港の管理を行う。				
<b>事業の対象者</b>	漁港を利用する漁業者				
<b>令和6年度 主な活動実績</b>	2漁港で浚渫工事、2漁港で栈橋の補修工事を行った。 ・浚渫工事 戸ヶ里・寺井津漁港（早津江川地区）の戸ヶ里及び寺井津の泊地、 戸ヶ里・寺井津漁港（筑後川地区）の三軒屋の泊地 広江漁港（川副側・東与賀側）の泊地 ・補修工事 戸ヶ里・寺井津漁港（早津江川地区）の戸ヶ里の2号栈橋、大詫間の2号栈橋、5号栈橋 広江漁港（東与賀側）の9号栈橋、11号栈橋				
<b>事業総額</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	172,785	149,003	102,305	240,367	141,094
うち佐賀市の負担額	55,048	49,842	33,114	78,113	58,462

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
泊地及び航路の浚渫箇所数（累計）						箇所
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
5	11 11	15 16	21 22	25 26		

成果指標②						単位
栈橋及び橋梁の補修箇所数（累計）						箇所
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	4 4	5 6	6 9	7 14		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	適正な時期に浚渫工事や補修工事を行ったことで、漁業者が安心、安全に漁業活動に取り組むことができた。

### 今後の改善策、対応策等

漁業者が安心、安全に漁業活動に取り組めるよう計画に沿って浚渫を行い、また、定期的な漁港の点検を行い、破損や老朽化の状況把握に努める。

# 令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	漁業近代化資金利子補給事業	事業期間	昭和 47 ~ 年度
担当部署・係名	水産振興課 振興係	担当課長名	山田 博幸
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	06特色ある水産業の振興	
	基本事業	水産業経営環境の整備	

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	漁業近代化資金の融資を受ける漁業者等に対し、その利子を補給することで社会資本の整備により生産力の向上や労力の低減等から、漁業経営基盤の近代化を図る。				
事業の対象者	佐賀市内の漁業経営者				
令和5年度 主な活動実績	漁業近代化資金の融資を受けた漁業者に対し、その利子の補給を行った。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,625	3,965	3,972	5,369	7,224
うち佐賀市の負担額	5,625	3,965	3,972	5,369	7,224

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利子補給を行った件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
454	450 420	450 429	450 385	450 362		

成果指標②						単位
利子補給を受けた漁業者の中で、経営を維持している者の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
100	100 100	100 100	100 100	100 100		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	昨年に比べ、新規貸付件数は減少したが、利子補給を行うことで利用する漁業者の経営維持に寄与している。

### ↓

### 今後の改善策、対応策等

漁業設備の整備・更新の費用は高額であり、定期的かつ継続的に投資が必要であるため、施設整備を行う漁業者に対し利子補給を行うことで負担軽減を図っていく。

# 令和7年度 事務事業進捗報告シート

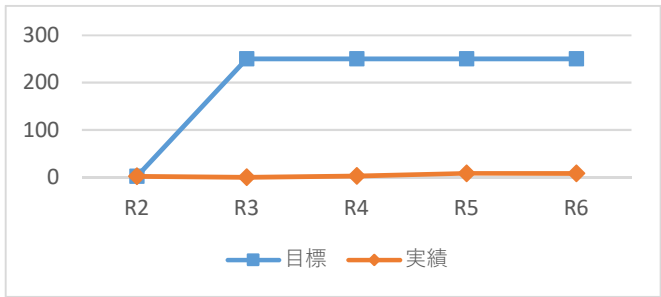
事務事業名	種苗放流推進事業	事業期間	平成 15 ~ 年度
担当部署・係名	水産振興課 振興係	担当課長名	山田 博幸
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	06特色ある水産業の振興	
	基本事業	漁場環境の保全	

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	有明海域のクルマエビやガザミなどの漁業資源の回復・増大を図るため、有明海沿岸4県並びに漁協が連携して共同放流を行う事業に対する負担金				
事業の対象者	有明海漁業者				
令和5年度 主な活動実績	国・県・関係市町が経費を分担し、クルマエビ・ガザミの共同放流を行った。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	617	612	587	580	566
うち佐賀市の負担額	617	612	587	580	566

## 2 成果指標の目標及び実績

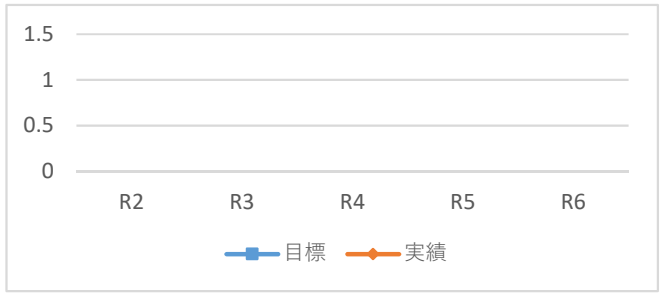
成果指標①						単位
クルマエビ漁獲量（佐賀県）						kg
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2	250 0	250 2.8	250 8.4	250 8.0		



年度	実績 (kg)
R2	2
R3	0
R4	0
R5	0
R6	0

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



年度	実績
R2	0
R3	0
R4	0
R5	0
R6	0

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	令和6年度については、漁獲量が前年度から若干減少した。漁業資源回復・増大のためには、今後も引き続きクルマエビ等の種苗の放流が必要である。



今後の改善策、対応策等
漁獲量については、気象条件も含め様々な要因で大きく変わることがあるが、今後も資源回復のため有明海沿岸4県で連携を取りながら放流を続けていく必要がある。

# 令和7年度 事務事業進捗報告シート

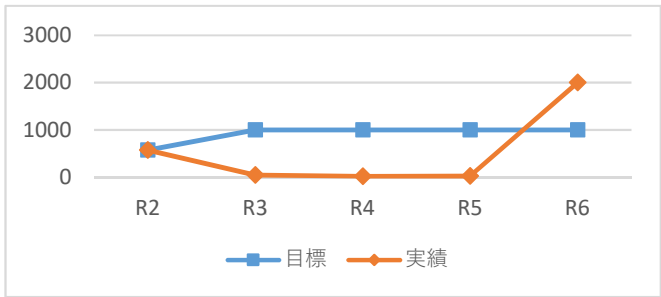
<b>事務事業名</b>	内水面漁業振興事業	<b>事業期間</b>	平成 17 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	水産振興課 振興係	<b>担当課長名</b>	山田 博幸
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	06特色ある水産業の振興	
	<b>基本事業</b>	水産業経営環境の整備	

## 1 事務事業の基本情報

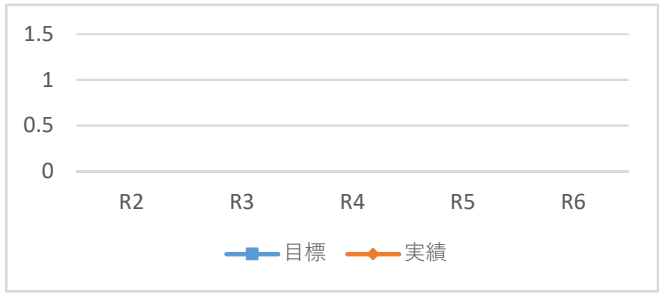
<b>事業概要・目的</b>	稚魚・人工受精卵等の放流を行う漁業組合に対し補助を行うことで、内水面漁業（河川・湖沼などで行う漁業）の振興と漁業経営の安定を図る。				
<b>事業の対象者</b>	内水面漁業者				
<b>令和6年度主な活動実績</b>	有明海漁協が実施する稚魚・人工受精卵等の放流事業に対し助成を行った。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	515	515	340	340	340
<b>うち佐賀市の負担額</b>	515	515	340	340	340

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
エツ漁獲量						k g
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
576	1000 51	1000 24	1000 30	1000 2000		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	令和6年度のエツの漁獲量については、漁家からの口頭聞き取りによる正確な数値が判明し、昨年度の実績から大幅増となった。



今後の改善策、対応策等
成果指数としているエツの漁獲量は目標を達成したものの、内水面の水産資源であるウナギやモズクガニ等が激減しており、資源回復・増大につながるよう、今後も漁協の放流事業への支援を行っていく。

## 令和7年度 事務事業実績報告シート

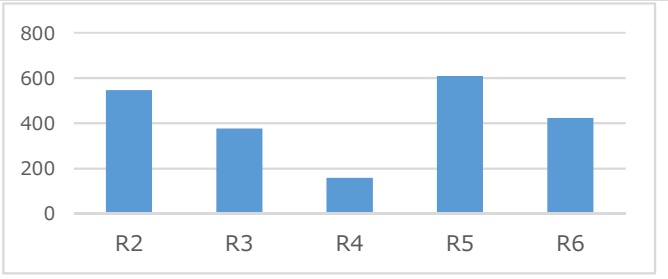
<b>事務事業名</b>	海岸漂着ごみ緊急対策事業	<b>事業期間</b>	平成 19 ~	年度
<b>担当部署・係名</b>	水産振興課 基盤整備係	<b>担当課長名</b>	山田 博幸	
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	<b>施策</b>	06特色ある水産業の振興		
	<b>基本事業</b>	漁場環境の保全		

### 1 事務事業の基本情報

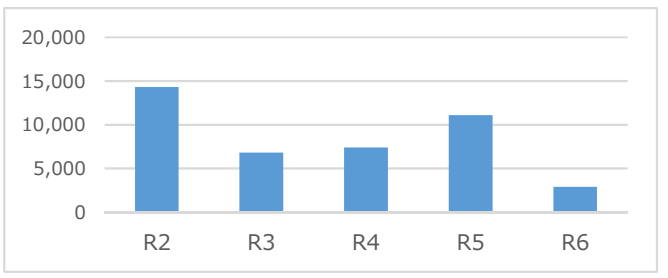
<b>事業概要・目的</b>	豪雨等により漁港区域内に漂着したゴミの撤去や上流から流れ込んだ土砂の除去を早急に行うことで、漁港を利用する漁業者の安全かつ円滑な漁業活動を確保する。				
<b>事業の対象者</b>	漁港を利用する漁業者				
<b>根拠法令等</b>	佐賀県海岸漂着物等地域対策推進事業				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>	42,930	26,108	24,942	44,030	17,386
うち佐賀市の負担額	19,948	12,215	13,797	29,642	10,986

### 2 事業の活動実績

活動実績①					単位
漂着ごみの撤去					m <sup>3</sup>
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
545.6	376.3	158.8	608.8	423.6	



活動実績②					単位
堆積土砂の除去					m <sup>3</sup>
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
14,300	6,800	7,400	11,100	2,900	



### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

豪雨等の影響による突発的な業務であるため、今後も同様の事案が発生したら早急に対応し、漁協活動に支障をきたさないよう対応していく。
--

## 令和7年度 事務事業進捗報告シート

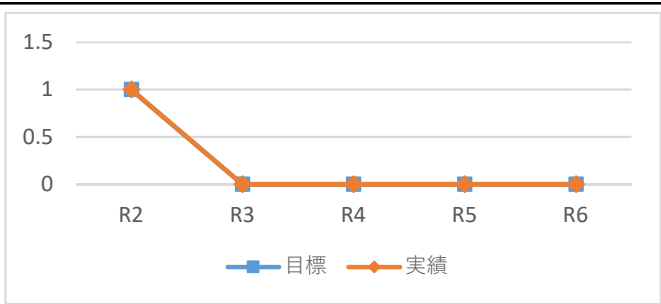
事務事業名	海苔共同加工施設維持管理経費	事業期間	平成 22 ~ 年度
担当部署・係名	水産振興課 振興係	担当課長名	山田 博幸
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	06特色ある水産業の振興	
	基本事業	水産業経営環境の整備	

### 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	り共同加工施設の用地（市有地）の維持補修などの管理を行う。				
事業の対象者	佐賀市支所のり養殖漁家				
令和6年度 主な活動実績	り共同加工施設の維持のための施設内整地等				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	813	505	513	574	581
うち佐賀市の負担額	813	505	513	574	581

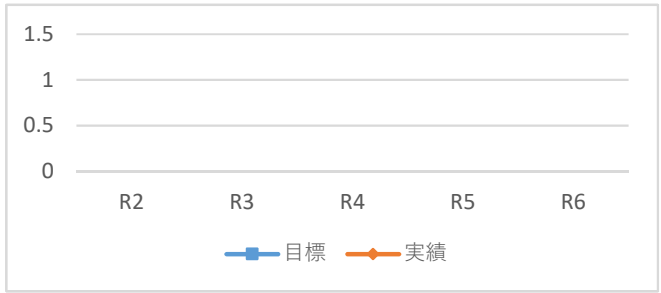
### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
り共同加工施設用地利用者からの苦情件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1	0 0	0 0	0 0	0 0		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



### 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	整地等の管理を計画的に行うことで、利用者からの苦情もなく適正な利用につながっている。



今後の改善策、対応策等
施設を利用する漁業者が使いやすいよう、今後も定期的な整地等の維持管理を行っていく。

# 令和7年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	水産多面的機能発揮対策事業	<b>事業期間</b>	平成 28 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	水産振興課 振興係	<b>担当課長名</b>	山田 博幸
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	<b>施策</b>	19地球にやさしい低炭素社会の構築	
	<b>基本事業</b>	自然環境保全活動の推進	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	地域協議会が実施する水産多面的機能発揮対策事業に対し助成を行う。				
<b>事業の対象者</b>	地域審議会（活動組織）				
<b>令和6年度 主な活動実績</b>	活動組織が実施した環境・生態系保全活動に対し国・県、市それぞれから支援を行った。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	278	267	267	267	254
<b>うち佐賀市の負担額</b>	278	267	267	267	254

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
活動面積						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2	2 2	2 2	2 2	2 2		

成果指標②						単位
活動した構成員人数（延べ）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
67	67 96	67 94	67 78	67 85		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	漁業者が取り組む干潟等の保全に係る、カキ礁造成のための採苗器の設置、漂着ゴミの除去などの活動を計画に沿って実施できた。



今後の改善策、対応策等
活動を行うことで海面・海岸域の環境意識の醸成にもつながっており、引き続き支援を行っていく。

# 令和7年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	漁業被害対策特別資金利子補給事業	<b>事業期間</b>	令和 5 ~ 令和 10 年度
<b>担当部署・係名</b>	水産振興課 振興係	<b>担当課長名</b>	山田 博幸
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	06特色ある水産業の振興	
	<b>基本事業</b>	水産業経営環境の整備	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	令和4年度の漁業被害により経営困難な漁業者が、佐賀県漁業被害対策特別資金の融資を受けた場合に、その利子を補給することで漁業経営の安定を図る。				
<b>事業の対象者</b>	佐賀市内の漁業経営者				
<b>令和6年度 主な活動実績</b>	漁業被害対策特別資金の融資を受けた漁業者に対し、その利子の補給を行った。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>				902	1,245
<b>うち佐賀市の 負担額</b>				451	623

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利子補給を行った件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
			24	24		
			24	24		

年度	目標	実績
R2		
R3		
R4		
R5	24	24
R6	24	24

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2		
R3		
R4		
R5		
R6		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	令和4年度の漁業被害を受けた漁業者に対する漁業被害対策特別資金融資の利子補給を行うことで、利用する漁業者の経営安定を図った。

今後の改善策、対応策等
令和5年度に限定した資金貸し付けのため、今後も対象者に対し5年間の利子補給を行っていくことで漁業経営の安定を図っていく。

# 令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	塩水対策事業	事業期間	平成 5 ~ 年度
担当部署・係名	水産振興課 振興係	担当課長名	山田 博幸
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	06特色ある水産業の振興	
	基本事業	水産業経営環境の整備	

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	ノリ加工後に排水される塩分を含んだノリ加工水が、農作物等へ塩害被害を発生させないように対策を行う。具体的な手段としては、ノリ加工水が排水される水路に、土のう等で仮堰を設置することにより、農業用水路への流入を防ぐ。また、塩分を含んだ一部水路においては、ポンプを使用して水の入れ替えを行う。
事業の対象者	川副地区・東与賀町地区のノリ養殖漁家
令和6年度 主な活動実績	ノリ漁期前（11月頃）に川副地区3か所の水路に土のう等で仮堰を設置した。漁期終了後（4月頃）に撤去を行った。 また、佐賀県有明海漁協が大詫間地区で実施する塩水対策事業に対し補助を行った。

### 決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,146	1,378	3,688	3,449	3,597
うち佐賀市の負担額	1,820	1,103	3,530	3,359	3,478

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
苦情・相談等の対応件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1	0 4	0 1	0 1	0 2		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	土嚢の設置等に加え、水路の定期的な水の入れ替えにより環境面での改善を行っている。また、佐賀県有明海漁協が地区単位で取組む塩水対策事業に対し補助を行った。結果、悪臭等に対する苦情も2件のみにとどまった。

### 今後の改善策、対応策等

近年、集落から離れた場所（漁港付近）へのノリ共同加工場の移転・集約が進んでいるが、これまでと同様に集落内でも加工が行われており、引き続き塩水対策を実施し、周辺の農作物等への影響がないよう努めていく。

# 令和7年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	沿岸漁業振興特別対策事業	<b>事業期間</b>	平成 17 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	水産振興課 振興係	<b>担当課長名</b>	山田 博幸
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	06特色ある水産業の振興	
	<b>基本事業</b>	水産業経営環境の整備	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	沿岸漁業の振興を図るため、漁業関連施設の整備及び漁場環境等の改善を行う佐賀県有明海漁協に対し、事業費への一部補助を行う。				
<b>事業の対象者</b>	佐賀市内の刀養殖漁家				
<b>令和6年度主な活動実績</b>	佐賀県有明海漁協が実施する、早津江地区乾海苔検査ラインの金属検出機、重量計及び重量選別機の更新事業への一部補助を行った。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	-	3,844	1,892	4,000	6,240
<b>うち佐賀市の負担額</b>	-	1,922	946	2,000	3,120

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市刀生産額						億円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
145.5	145.5 173.9	145.5 135.2	145.5 177.9	145.5 178.6		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	手動であった乾海苔運搬コンベアを自動機器に更新し、人件費削減及び作業の効率化を図った。また、浮棧橋を更新し、漁業活動時の安全性を確保した。

### 今後の改善策、対応策等

漁協が希望する小規模な施設の改修などに対し、細かな支援を行うことで漁業者の課題解決につながっている。今後も漁業者が安心して生産を続けていける環境づくりのための支援を行っていく。

# 令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	漁港管理経費	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	水産振興課 基盤整備係	担当課長名	山田 博幸
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	06特色ある水産業の振興	
	基本事業	水産業経営環境の整備	

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市が管理している3漁港において、損傷や機能の低下により、管理上必要な修繕や補修工事を行うことで、漁業者が安全かつ円滑に漁業活動に取り組めるよう漁港の管理を行う。				
事業の対象者	漁港を利用する漁業者				
令和6年度 主な活動実績	漁港管理者として漁港施設の修繕、補修工事等を行った。 ・修繕 9件 ・補修工事 8件				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	3
事業総額	13,096	12,071	17,391	10,779	9,654
うち佐賀市の負担額	5,935	5,187	10,724	4,164	3,136

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
苦情対応件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	0 0	0 0	0 0	0 0		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	損傷箇所を早期に発見し、修繕や補修工事を行ったことで、漁業者からの苦情や事故もなく、安全に漁港の利用ができた。

### ↓

### 今後の改善策、対応策等

漁業者が安心、安全に漁業活動に取り組めるよう定期的な漁港の点検を行い、破損や老朽化の把握に努める。

## 令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	漁港小規模事業	事業期間	平成 8 ~ 年度
担当部署・係名	水産振興課 基盤整備係	担当課長名	山田 博幸
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	06特色ある水産業の振興	
	基本事業	水産業経営環境の整備	

### 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市が管理している3漁港において、管理上必要な工事を行うことで、漁業者が安全かつ円滑に漁業活動に取り組めるよう漁港の管理を行う。				
事業の対象者	漁港を利用する漁業者				
令和6年度 主な活動実績	3漁港で漁港の嵩上げや埋設電線の入替工事を行い、漁港の適正な管理を行った。 ・漁港嵩上げ工事 戸ヶ里・寺井津漁港（早津江川地区）の戸ヶ里 ・埋設電線入替工事 広江漁港（広江側） ・漁港嵩上工事 佐嘉漁港				
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	25,319	20,067	22,282	30,155	24,297
うち佐賀市の負担額	16,830	14,018	14,636	18,244	15,953

### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
工事を行う漁港数（累計）						箇所
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	5 5	8 8	10 11	13 14		

年度	目標	実績
R2	3	3
R3	5	5
R4	8	10
R5	10	11
R6	13	14

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

### 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	航路に堆積した土砂の浚渫や駐車場の舗装などを行ったことで、漁港施設の有効利用ができるようになり、漁業者が円滑に漁業活動に取り組むことができた。

#### ↓

#### 今後の改善策、対応策等

漁業者が安心、安全に漁業活動に取り組めるよう定期的な漁港の点検を行い、破損や老朽化の把握に努め、補修等が必要な現場は早急に対応していく。